

目標達成計画

作成日: 平成 26年 8月 30日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	11 12 13	会社として、社員教育に重きを置くうえで、社員の主体性を開花させ、社員間の連携を強いものにしていきたい。	スタッフ一人ひとりが主体性をもち、チームケア、助け合いを意識して働くようになる。	事業所間のスタッフ異動も含め、さらにスタッフ個々に目を向け、考え方の把握をして個別に指導していく。申し送り時間を活用し、全員の意見やモチベーションを確認し、話し合いを通してチームケアの結束につなげる。	12ヶ月
2	36 37	入居者一人ひとりに合わせた対応や声掛けに一層の配慮を行っていききたい。	入居者の気持ちを受け止めたうえで、気の利いた対応や全体の雰囲気作りをすることを徹底する。	細めに話しかける。会話する時間を確保する。その都度の情報収集とその共有を行う。一人ひとりの取り組みを共有し、スタッフの対応の引き出しを増やしていく。何が最善だったのか事例検討を行う。気持ちの理解について、認知症の研修をする。	12ヶ月
3	18 21 23	入居者同士の馴染みの関係に、スタッフのサポートがもっと必要なことを重要視していききたい。	入居者がほっとするような、居心地の良い環境を提供する。	入居者同士の共同活動を生活に取り入れる。入居者同士の関係性を把握し、会話の仲介や雰囲気作りを行っていく。	12ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。